

理事会議事録

【理事会議事録】

日 時：2005年1月8日(土) 11:00-17:00

場 所：国立天文台南研大会議室

出席者：祖父江，井上，花岡，杉山，北本，関井，蜂巢，和田，百瀬，田，成相，馬場，浅田

欠席者：なし

有効委任状提出者：黒田，富田

他に，旧理事として，松田，若松，郷田，土橋，土居，佐藤，花見が出席した。また，東條事務長が出席した。

議事に先立ち，署名人を選出した。

議 長：祖父江義明

署名人：杉山 直，花岡庸一郎

報 告

1. 前回議事録の確認(資料1)

杉山理事より前回(2004年9月21日)の理事会議事録が報告され，原案通り承認された。

2. 災害援助法適用地域の特別処置の確認(資料2)

関井理事より新潟中越地震および台風23号被害地域についての会費免除について報告があった。3名から免除の申し出を受けており，今後同様の処置を行っていくことをアナウンスした。

3. 日本学術会議会員候補者推薦内規の廃止(資料3)

杉山理事より，内規の前提となっている学術会議側の会員候補者推薦方法が変更となったことに伴い内規が無意味となってしまっているため，内規そのものを廃止することが提案され，評議員会に内規の廃止を提案することが承認された。昨年場合は，学術会議からの通知で天文学会は候補者8人の情報を連絡するのみとなった。このため内規に従う候補者決定は不可能となり，評議員の間での議論で，理事，評議員による選挙を行うことを決めた。選挙管理委員長立会いの下，開票を行い，その結果に基づいて8名の候補者の研究者情報を学術会議に通知した。

4. その他

(1) 教育問題懇談会について

松田前理事長より，前回の年会をきっかけとした評議員会の議論にもとづき，教育問題懇談会を組織したことについて報告があった。既に1回会合を開催しており，1月9日に国立天文台にて高校教育での天文教育についてのシンポジウムを開催，2月に小・中学校での天文教育についてのシンポジウムを予定，また3月の年会での教育フォーラムでの講演を初等中等教育の研究者に依頼，など活動を行っている。これらの内容は月報に掲載する予定で，またその報告を独立の冊子にしてはどうかという提案もあった。

(2) 次回以降の年会について

明星大学がホストとなる2005年春季年会について成相理事より報告があった。明星大学内での会場確保状況について紹介があり，アルバイトは雇用選考中，機器類・インターネット室も準備中とのことである。公開講演会については，平山 淳氏・佐藤勝彦氏に講演を依頼，また日野市及び多摩市教育委員会，京王電鉄からの後援が決まっている。講演者のうち佐藤勝彦氏は，世界物理年の行事であることも念頭においた人選である。北海道大学がホストとなる2005年秋季年会について馬場理事より報告があった。日程は2005年10月6日(木)～8日(土)，場所は札幌コンベンションセンターにて開催する。懇親会は札幌ビールファクトリーを予定している。公開講演会は10月9日に行い，講師は，世界物理年の一環としての行事という位置付けであることを念頭に，佐藤文隆氏・土居 守氏に依頼している。和歌山大学がホストとなる2006年春季年会について杉山理事より報告があった。2006年3月27日(月)～29日

(水)に開催、富田理事と、尾久土氏が中心となって準備を行っている。公開講演会は3月26日(日)に和歌山県民文化会館にて開催を予定である。九州国際大学がホストとなる2006年秋季年会について、浅田理事より資料にもとづいて準備状況の詳細な報告があった。

(3) 世界物理年日本委員会について

松田前理事長より世界物理年日本委員会について報告があった。今年はアインシュタインの奇跡の年から100年を記念して国連の決定で世界物理年となっている。日本でもいくつかの学会から担当者が集まって日本委員会としての取りまとめを行っていて、頻繁にひらかれるこの関係の会議に天文学会も参加している。委員会の活動としては3月21日に春休みイベント(科学技術館)を予定されている他、特に物理オリンピックへの参加を見据えて、国内予選に相当するイベントを夏に行うことなどを予定している。学会としては法人会費10万円を支払う予定である。1月7日に第8回運営委員会があり、これについて祖父江理事長より、趣意書ができこれからお金を集めること、1月15日からのパリでのイベントに学生を送ること、等を委員会として予定していることが報告された。ただし、天文学会の方針として、世界物理年には学会の行事の中でできるだけ協力はするが、資金については日本委員会に依存も貢献もせず、独立で行うことが確認された。今後、松田前理事長が対応窓口として委員会等に出席するが、必要に応じて祖父江理事長、あるいは井上副理事長、杉山理事、田理事が対応する。

(4) 天文月報からの報告

和田理事より綴じ方を変更した(背表紙つき)ことについて紹介があった。また、ホームページを全面リニューアル予定であること、バックナンバーの電子化を考えていることについて資料にもとづき報告があった。2003年半ば以前は電子化のためにはスキャンが必要であり、それ以降は既にpdf版があるものの印刷会社に権利があるため学会で使用するには買取が必要であり、いずれにせよ費用がかかる。この電子版はどこまでオープンにするか、オープンにする場合は著作権はどうなるのか、等議論があった。

(5) 最先端天文学を学ぶ研修会の開催に向けて

杉山理事より「最先端天文学を学ぶ研修会の開催に向けて」趣意書の紹介があった。シカゴ大学での例を参考に、科学の普及に貢献するための試みである。学会へ講師派遣を依頼する予定があるかという議論があった。

議題

1. 新入会員の承認(資料4)

杉山理事より、資料に基づき、新会員の入会が承認された。あわせて、退会者の報告があった。

2. 2004年度事業報告書案(資料5)

杉山理事より事業報告書案について説明があり、質疑応答の後承認された。なお、寄付を頂いておこなっている事業については、寄付者のご意向を担当者が変わっても申し送りできるよう取り計らうこととなった。

3. 2004年度決算報告書案(資料6)

関井理事より決算報告書案について説明があり、質疑応答の後承認された。

4. 2004年度監査報告書(資料7)

杉山理事より、2005年1月6日に実施された監査の結果正当であることが認められた旨の報告書について説明があった。

5. 正会員(学生)等の会費見直しについて(資料8)

関井理事より、正会員(学生)と準会員の会費見直し(値下げ)の提案について説明があった。印刷費縮減などの努力の結果ここ最近では学会会計が黒字になっていることに鑑み、正会員学生を13,000円から10,000円へ、準会員を8,000円から7,000円へ変えるという提案である。この趣旨は、研究に携わる学生はできるだけ正会員に、一方広くアマチュアの人を準会員にする、ということである。研究者が正会員になるメリットは明確にすべきで例えば学会での講演は正会員が有利になるようにすべきである、との議論があった。準会員は5,000円にして裾野を大きく広げるべきという意見もあったが、あまり下げると財政にも影響があり、他の事業の拡充もできなくなる、という指摘もあった。評議員会への報告

として、理事会の議論の結果提案のままの金額に変更することに賛成が多く、ただし準会員を5,000円まで下げるべきという意見もあった、と紹介することとした。

6. 創立100年事業WGの立ち上げについて

杉山理事より創立100年事業WGの立ち上げの提案があった。事業としてひとつは天文学会100年史のようなものを考えており、尾崎洋二氏に編纂のとりまとめをお願いすることについて内諾を得ている。全体の事業(100年史、記念切手、記念式典+シンポジウム、月報100年記念号といった案がある)をワーキンググループを組織して(理事長・副理事長、杉山理事、尾崎氏、若松前副理事長)とりまとめて活動を行っていくこととした。

7. Asian-Pacific Journal について

蜂巢理事より経緯の説明がされた。Asian-Pacific Journal の刊行が検討されており日本の参加も期待されているが、PASJをAsian-Pacific Journalへ融合していくことについては理事の間では反対意見が多かった。ただしまだ未知数の部分が多く、とりあえず蜂巢編集長と有本顧問がこれに関するミーティングには参加することになっている。いずれ、学会員に意見を伺う機会を設ける。

8. その他

(1) 2007年以降の年会開催地について

杉山理事より春は東海大学、秋は岐阜大で開催する案について説明があり、そのとおり決定した。2008年春は天文学会100年にあたるので東京近辺での開催を想定しており、今後具体的な担当者を決定する。2008年秋は岡山理科大が立候補している。

(2) 衛星設計コンテスト(資料9)

郷田前理事より衛星設計コンテストに学会として主催または共催に加わるよう要請されていることについて報告があった。今回はとりあえずオブザーバー参加となっている。現在郷田前理事が窓口となって対応しているが、学会として現役理事の中に担当を設けて欲しいとの提案があり、北本理事がすることとなった。

(3) PASJのweb公開

web版の古いものについてのアクセス制限の撤廃について蜂巢理事から提案があった。最近の2年間程度はアクセスが多いが、それ以前のアクセスが少ないものについて制限を撤廃しても問題ない。アクセス制限はすべて撤廃した方がサーキュレーションがよくなり論文としての価値があがるという意見もあったが、それによって購読をやめられると補助金が廃止されるなど雑誌として成り立たなくなる可能性も出てくる。方向性としては1年程度で制限をはずす、という意見が大勢であった。雑誌によっては論文ごとにはばら売りするという方法を採用しているところもある、との指摘もあった。

(4) 2005年春季年会特別講演について

Gemini副所長がたまたま春季年会の折に来日するため、その講演を年会中に行うことについて唐牛氏より推薦がある旨土居理事より報告があった。ただし推薦が来た時期が遅く、学会中の日程がすでに隙間なく詰まってきていて時間的に厳しいため、理事会としてはお断りする旨決定した。

(5) 次回以降の理事会日程

次回は春季年会中、3月28日の昼休みに開催し、次々回は7月2日(土)11:00より国立天文台(三鷹)で開催することとなった。

2005年1月27日

議長 祖父江義明

署名人 杉山 直

署名人 花岡庸一郎